

別記様式（第8条関係）

議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年11月15日（土）10時00分から 12時00分まで
開催場所	八幡平市役所多目的ホール
参加人数	8人
出席議員	代表者 羽沢寿隆 司会者 齊藤隆雄 参加者 高橋光幸・古川津好・立花安文・勝又安正・ 関治人・田村正元 オブザーバー 工藤隆一
実施内容	・議会報告（令和7年八幡平市議会第3回定例会の内容説明） ・意見交換 テーマ「ギカイのひろばの内容で語ろう」
主な意見・ 提言等	（議会報告） ○平舘高校の存続については、より特色ある施策や運営を検討すべきである。また、存続の議論の中で市外通学定期の補助が行われているのは不適切であり、再考を求める。 ○ <u>廃校や旧校舎、公共施設の有効活用を図るべきである。また、個人宅の空き家に関しては、解体費用や課税が大きな負担となっている。むしろ行政の対応に課題があり、空き家を招いているように感じられる。対応を考えるべきでは。</u> ○ <u>クマの被害は深刻な災害であると認識しており、より早急な対策が必要である。</u> ○高齢者等温泉館の管理運営については、市所有の温泉を指定管理者制度ではなく、民間委託の方法も検討すべきである。また、綿帽子温泉館については、5～6年前に約3,000万円の修復工事が行われたが、その際に柱を切る工事が含まれており、耐震性の再検証が必要である。 ○ <u>八幡平市は自然環境や観光資源、特色ある特産品が豊富にあるが、PRが不足しているのではないか。</u> □「議員と語る会」はもっと議員と自由に意見交換出来るようにすべきである。対面式が良い。土曜日の開催だけではなく日曜日開催も検討するべきである。

●＝市政に対する質問（後日回答を要するものは二重下線を引く）

○＝市政に対する意見・提言・要望（後日回答を要するものは二重下線を引く）

■＝市議会に対する質問（後日回答を要するものは二重下線を引く）

□＝市議会に対する意見・提言・要望（後日回答を要するものは二重下線を引く）

	□議員と語る会は大変いい取り組みだと思うが、テーマを設けなくて自由に語る会にした方がいいと思う。なんでも答えることができる度量のある議員になってほしい。 □議会として議論した後、事業の進捗状況や費用対効果の検証を行うことが必要ではないか。 ○八幡平市の除雪は早くていいが、高齢者は除雪している車道があるくので、歩道も早く除雪してほしい。 ○平館高校生は入学後３年先の進路を考えているはずである。市には就職先、進学先がないので、学校関係だけでなく、産業誘致や就職先をもっと盛んにしなくてはいけないと思う。もう少し長いスパンで生徒のことを考えてあげてほしい。 ○昔に比べて子どもが少なくなったため、子どもたちの声が聞こえなくなり、寂しいと感じる。平館高校が無くなればさらに子育て世帯が移住しなくなると思うので対策を考えてほしい。 ○中学校の統合に関して、集団行動や社会に出てからの適応能力を育てるためにも西根・松尾だけではなく、安代地区のことも考えてほしい。
--	---

令和 7 年 12 月 15 日

八幡平市議会議長 工 藤 隆 一 殿

八幡平市議会報告会実施要綱第 11 条第 1 項の規定に基づき提出します

令和 7 年度 議会報告会 1 班 代表者 羽沢寿隆



- ＝市政に対する質問（後日回答を要するものは二重下線を引く）
- ＝市政に対する意見・提言・要望（後日回答を要するものは二重下線を引く）
- ＝市議会に対する質問（後日回答を要するものは二重下線を引く）
- ＝市議会に対する意見・提言・要望（後日回答を要するものは二重下線を引く）